

平成30年度 湊公民館 事業実施方針

基本方針

足羽川の水運で栄えた湊地区は近年、少子・高齢化が進み、自治会への加入率も年々減少している。こうした現状を鑑み、湊公民館は地域の生涯学習・社会教育活動の拠点施設として、住民の学習意欲向上や地域の「仲間づくり」に取り組み、地域のコーディネーターとして、各種団体の活動を支援するとともに、連絡調整に努める。また、外国人が多く住む地区でもあり、多文化共生社会の実現が急務である。それと共に、安全・安心なまちづくりを推進する。

今秋開催される福井国体・障害者スポーツ大会に向けて、福井運動公園などの競技施設への通り道となる「さくら通り」に花のプランターを設置し、花いっぱい運動を実践する。また、今年は湊地区に住んでいた幕末の歌人、橘曙覧の没後150年になることから、記念事業を開催し、曙覧を顕彰すると共に、その偉業を後世に伝えていく。

実施方針

- ・ 湊地区の課題やニーズに即した学級・講座を適切に開設・運営し、地区住民の参加を促す。
- ・ 自主グループに対する指導や育成を行い、公民館活動の充実・活性化を図ると共に、地区の各種団体の自主的な運営を支援し、湊フェスティバルなどで活動成果の発表の機会を提供して地域社会への還元を図る。
- ・ 子育てに関する悩みの解決や親同士の仲間づくりに向けて、家庭教育講座を開催し、家庭教育の充実・強化に努める。
- ・ 青少年が気軽に集い、地域に根差した活動や自然体験が出来るよう、青少年健全育成学習や新成人のつどいなどを開催する。
- ・ 青少年育成福井市民会議湊支部や湊小学校PTAなどの団体と連携し、児童の登下校時の見守りなどで児童の安全を確保する。
- ・ 高齢者と児童との世代間交流を促進し、高齢者の知識や経験を児童に伝えるとともに、高齢者の生きがいづくりに努める。
- ・ 越前湊さくら祭を通して自治会や各種団体との連携を強めて地域活性化を図り、湊地区の「宝」である照手・木町の桜並木をアピールする。
- ・ 地区の自主防災会と連携して防災意識の向上に努め、総合防災訓練などを通して災害に強いまちづくりを目指す。
- ・ 広報誌「湊地区ニュース」やホームページの充実を図り、公民館の活動情報や地域情報を積極的に発信する。
- ・ 国体の開催に合わせて花いっぱい運動を展開し、市民憲章活動を推進する。
- ・ 「福井学」の事業として、橘曙覧没後150年の追悼祭や講演会、シンポジウム、パネル展示、独楽吟の募集など、年間を通して記念事業を行う。
- ・ 「福井学」などで中央公民館と連携した事業を行う。